

るぼるたーじゅ神戸

“高架下酒場”

文・有井 基
〈フリーライター〉

カメラ 池田年夫



高架下を飲み歩くなんで、もう何年ぶりだろう。

阪急三宮駅からJR元町駅まで、約四百メートル。終戦直後は進駐軍の放出物資を並べた開市だった。今は、シャレたブティック、アクセサリー専門店など、明るくカラフルな商店街(三宮高架商店街)に様変わりして、その愛称も「ピアザKobe」。道幅が二メートルと狭いために、緑日気分である。

だが、高級化したぶんだけ、一膳メシ屋もホルモン焼屋も、そして居酒屋も次々と消えた。祭り提灯の灯が消されていくように。

そんな中で、安うてうまい居酒屋が残っているのかどうか。とりあえず本誌編集部の新森君と、カメラマンの池田君を、楽天地の居酒屋「たぬき」へ誘った。新森君は根っからの下戸。池田君は、あとに宴会をひかえている。だけど、この店なら肴だけでも結構イケルだろう。

酒は「白鹿」「大関」「月桂冠」。熱燗には、まず湯どうふだ。これが滅法うまい。豆腐もよければ、ダシもいい。注文してから少々、時間がかかるが、ほかに鯛の子煮付、めばる煮付、かき酢、かに酢、なまこ、まぐろ山かけ、だし巻々と、メニューは豊富である。

調理場の棚に、陶器のタヌキが約二十体。寝そべったり、ふてくされたり、二匹寄り添ったり、どれ一体としてくつろいでいないのは見当たらない。勤め帰りのサラリーマンが、ホッと一息つくには格好の小道具といえる。

「入り口のタヌキ、もっと大きかったと思うんやけどいつも小そうだったン？」

聞いたら、店主の月田裕康さん

「もう、ずーっと昔や。消えてしまいいった。覚えてらんわ。うちも三十五年になるさかいなあ」

こぼれた酒をたっぷり吸って黒ずんだカウンターやテーブルが、六時前後から満席になる。何年も通っている人は多かるう。

さっきから、ウーロン茶でだし巻を食べていた新森君

が、生まれて初めてという「わけぎめた」に箸をつけて「これは、うまい！」。次がなければ、もう五、六本、銚子をあげたところである。

関東煮が食いたくなった。おでん、ではなく「鳥だしを基本にした濃いめのだしで、じっくり煮込んだ、かんとだきを」だ。迷いはなかった。JR元町駅の浜側に面した「金盃」。いっそや刑事と飲んでいて更生した人と出合い、三人で関東煮をつついたことがある。阪神タイガースが優勝した時だから、ずいぶん前だが。

百人も入る客席は埋まっていた。幸い、三席あいていたカウンターに座れた。シマアジ、アワビ、赤貝、帆立で、サヨリといった刺身類も新鮮で値段も手ごろ。だが、お目あての「名代関東煮」が、目の前でグツグツ音を立て、湯気をあげている。

これぞカントダキだ。「ようさん入れて」。注文するまでもない。ダイコンも三角も、どんどん出て行くの

くつろぐタヌキを見ながら、チョイと一杯。料理もイケルし、値段も安い「たぬき」





これぞ居酒屋といった感じの「金盃」。気ままに食い、心おきなく酒が飲める

テレビもない。カラオケもない。あるのは男の会話だけ。そのざわめきがBGMになって、われわれの話し声と溶け合う。

だれに気を使うでなく、気ままに食い、心おきなく酒を飲む。だからこそ居酒屋だ。酒は「泉正宗」。五、六本も空いたろうか。

もう一、二軒、ハシゴをしたいところだが、時間に追われた池田君が落ち着かない。元町駅で「お開き」にして、私は私の巣へ戻った。

二日目の夜――

「たぬき」と「金盃」との中間を探すつもりで歩いていた。すると、舞子ビラの三宅斉君とバッタリ会った。ちょうどいい。行きつけの店はないか、とたずねたら、「ありまっせ、高田屋ですけど」という。うん、その前に一軒つき合えよ、と誘ったのが、高架下の中ごろ、関東煮を看板にした「おかめ」だ。おかめさんが一人で頑張っている。酒は「沢の鶴」、関東煮のほか、一品のおかずがガラスケースに入っている。

客は二、三人。いわゆる一膳メシ屋だ。けれど、無愛想なおかめさんの、酒の煙は具合がいい。

「こういう店に、提灯でもぶら下げとけば……」
いいのだが、という三宅君が「そうですねえ」と相づちを打つ。



に、どれもこれも味が通っている。老舗の強味だ。創業は昭和十年。看板は「穴門金盃」だ。
「元町金盃でも、ただの金盃でもよろしいねん。昔は穴門の入り口。今は薬局になっとるけど、そこを終戦後ダレン隊に乗っ取られて、ここへ来たのが昭和二十八年でしたわ」

あるじの広狩憂之介さんは商売一途である。

酒がうまい／ 筆者の辞書に「禁酒」という文字はない

よくは覚えていないけれど、故橋本峰雄さんの現代風俗研究会（現風研）が京阪神の飲み屋の提灯に何色が多いか、調べたことがある。大阪が赤提灯、京都が白提灯、そして神戸は黄色い提灯であったか。

「神戸は、何色やと思う？」

三宅君に聞いたら「白色やないですか」という。生田新道の南北界隈を見える限り、赤と白が混在しているけれど、彼は神戸生まれの神戸育ち。幼時の記憶で、白提灯が印象に残っているとか。とすれば、京阪神それぞれの特徴は、すでに、まぜこぜになっているのだろうか。

話をサカナに、そこそこ飲んだ。台湾料理の「丸玉食堂」や、焼肉の「平和」を思わぬでもなかったが、だれしも慣れた店が落ち着く。うながして「高田屋戎店」へ。

「僕は、ここへ来たら最初はタコ酢ですねん」

注文も人それぞれ。私は初めての店に入ると、まず煮物の小鉢でだしを確かめ、つけものを取って、手のかけ具合を見る。だが「高田屋」といえば三十数年前、新開地のガード下の立ち飲みから、店の名になじんでいるせいか、イワシの煮付から入った。

「タバコ。買い置きなら何でもええ」

すかさず「ミツちゃん」というオバサンが

「これ、ケムリ、よう出るで！」

マイルドセブンを持ってきた。おおきに。それでええ



三宮駅北側にある名物「愛のつぼやき」

今宵もまたネオンの灯りが筆者を誘う

ねん。ここも灘酒。三十席のうち女性は中年の三人だけだった。飾りもせず、ひたすら酒を飲ませる。椅子はあっても「立ち飲み感覚」である。

「ここへ来たのは昭和四十五年ですわ。あっちこっちに親族で出とった「高田屋」の看板も今はここだけ。時代は変わるけど、うちは頑張りまっせ」

当主・中村博さんも、もう若くはない。しかし、客は楽しげにしゃべっている。いうなれば「人生酒場」。神戸の一等地で、いつまで客に合わせて店を続けられるやら。酒がうまいだけに、失われゆくものへの淋しさは、ひとしおである。



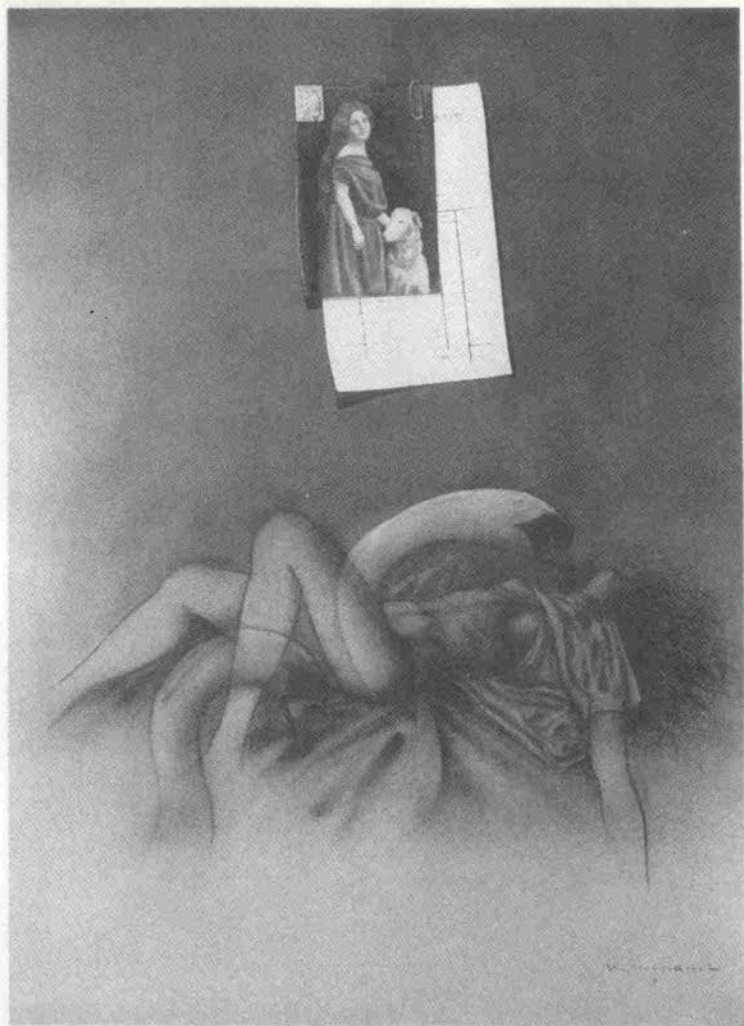
連載小説／第二回／

■ 第16回神戸文学賞受賞 ■

香水はミス・デイオール

白石美保子

え・南和好



直子たち一家が東京から、博行の郷里であるこの松山に帰ったのは、行彦が小学校に入学する春だった。

夫は市の中心地にあるビルの一室を借りて法律事務所を開業し、家はその近くにあるデパートの前から電車に乗って十五分あまり、終点の道後で下りて少し歩いたところに二百坪の土地を買ってたてた。

資金は決して潤沢ではなかったが、職業を担保に銀行は十分に融資をしてくれた。

直子はその家で行彦を育てることに専念し、夫の仕事には一切タッチしていない。

彼が事務所でどんな依頼者に会い、どういう弁護を引き受けているか全く知らなかったし、知りたいとも思わなかった。

彼の方も職場と家庭をはっきりと区別し、家では書斎にとじこもって専門書を読みふけることはあっても、仕事に関して話すということはまるっきりなかった。

その点、田崎家では夫と妻の役割分担が、暗黙の内に決められていたといえる。

直子は毎月、夫から手渡される充分すぎる生活費で、ぬくぬくと子育てに没頭できることをこの上もない幸せだと思つたし、かつて司法試験に落ち、うつうつとした日々を送っていた地方出身の彼を、短大を出たばかりの都会育ちの直子が、家族ぐるみで援助したのは、打算があったとはいえ、決してまちがってはいなかった、と思うのだった。

博行は息子のことについては、すべてが妻の仕事の領域だとばかりに、一切、口出しすることはなかった。それに腹を立て、けんかをしたことは何度かある。

けれど、こうして難関と言われるK大法学部、それも現役で合格してみれば、そんなことは取るに足りないことだと余裕をもって思えてくる。

後は行彦が父親の跡をついで弁護士になってくれれば、もうそれ以上にも言うことはなかった。

今、改めて正面から夫を見ればまだまだ四十五歳。働

きざかりの充分に魅力ある夫が、そこにいた。

直子はうれしさを分かち合うように、もう一度ほえみかけた。視線を受け止めた彼の目が、かすかに揺れたのを、直子は感傷ととった。

「お薄を一服たててもらおうかな」

居間の座椅子にもたれ、とったメガネのフレームをハンカチでみがきながら、夫が思いついたように言った。レンズを通さない彼の目は、意外にやさしい。

夫が茶室でのお茶を所望するなど珍しいことだった。

行彦の合格がよほどうれしいのにちがいない。

そう言えば今朝起きた時から、これも珍しく和服を着ている。おそらく発表が気になって、たとえ結果がどちらに落ちつこうとも、心あらたまる思いでその時を待つ心境だったのだろう。袖口からかすかに樟腦のにおいがただよった。

直子は茶室に入りお点前の用意をする。冷めたい空気が身をひきしめる。

お床にはれんぎょうと椿の花を活けていた。これも目がさえてねむれないまま朝早く起き、庭に咲いたそれらをとって、無事合格を祈りながら活けたものだった。

れんぎょうの黄と、椿の紅が焦茶の備前の花入れにすっきりと映えている。お茶軸も、「日々是好日」と書かれた墨跡を選んでいた。

釜のかなでる松風の音も、今日は特別、耳に心地よい。

直子の白く柔かな手が流れるように動く。夫は正座して両手をひざに置いて見ている。見られているという緊張感が、いつものことながら快い刺激となって直子の背筋をびんと伸す。

夫はさし出された茶碗を分厚い掌におき、軽く一札すると正面をよけて飲み干した。つづいてお茶碗拝見の姿勢にうつる。

両ひじをひざに落し、うつむきかげんになって見ている。新兵衛作の萩の茶碗だ。形、色あい、手ざわりが気に入って求めたものだが、使い込む内、薄い紅色が生き

生きと艶を増していた。

彼は手の中のそれを、右に左にと傾けてみている。そして、そのままの姿勢で、ためらいがちに、しかしはっきりと言ったのだ。

「このことは、実は一年以上前から考えていた。だが、行彦の受験があるから言えなかった」

「何のこと？」

直子は両手をひざに重ね、背筋を伸ばして笑って夫をみた。彼はまだ、茶碗から目を離していない。

「私のわがままだとわかつている。あなたには申し訳ないと思うから私は何もいらない。この家も、土地も、すべてあなたの名義に変えていい。行彦の教育費は、あなたが卒業するまで責任をもって送金するつもりだ。あなたのことは、幸いお茶の免状もとったことだし、それだけで心許なければ庭を前の信用金庫に貸せばいい。それでなんとか生活はできると思う。だから……、すまないが、私を自由にさせて欲しい」

直子はぼんやりと夫を見た。この人は一体何を言っているのだろう。冗談だろうか。それにしては一語一語、言葉を選んで話している。

彼は言うべきことを言い終わると、茶碗をおいてまっすぐに直子を見た。メガネの向こうのやさしげなまなざしは、もうなかった。

「何故ですか。……理由を言って下さい。……誰か……他に好きな人でも出来たというのですか」

のどが異状に乾き、声がかすれる。夫は目をそらせた。ふいに直子の眼前にピンクのワンピースが舞い、強い香水のかおりが鼻先をよぎった。

もしかして、『馬酔木画廊』の上島さん……。彼は否定も肯定もしない。激しい目まいが襲ってくる。直子は両手を畳について、かろうじて体を支えた。

一年前から考えていた、と言った。だとすれば行彦の受験に母子が必死になっていた時期、夫の心はすでに二人のもとを離れていたことになる。

信じられない。行彦は、彼の受験は、夫婦である二人にとつて、一番大切なものではなかったか。

めくるめく思いの中で、その後、直子は夫に何をどう言ったのか、泣いたのか、わめいたのか全く覚えていない。記憶の中の自分自身がそこだけ欠落している。

翌朝、夫は出て行った。言ったとおり何も持たず、事務所にかけけるいつもの格好で、昨夜から茶室に坐りつけている直子に、じゃ、元気で、と言って出て行った。

夫はもう、今夜からこの家には帰ってこない。そう考えるだけで、なぜいつもと同じこの茶室が、こうも広く寒々と感じるのだろう。

隣室の時計の音まで大きくひびく。直子は床の間の茶軸を、力まかせに引きちぎりたい衝動に耐えていた。

「何故ですか。私のどこがいけなかったのですか。教えて下さい」

昨夜から今日にかけて、胸の中で堂々めぐりした言葉が、再び頭をもたげてくる。

主婦としてするべきことはして来たつもりだった。たとえ少しばかり掃除の行き届かない点はあったとしても。

現にこうして行彦も無事大学に合格できたのだ。直子の努力もあつたからだ、と昨日のこと夫は言ったではないか。

上島令子の姿が再び目の前に鮮烈に浮かぶ。強い香水のかおり。真紅のマニキュア。趣味のいい服装。そうしておしゃれに、まるで無頓着な直子だった。

もしかしたら彼女のそんな華かさに、夫は魅せられたのだろうか。

「だからと言って、私と行彦と、三人で暮した十八年間を、すべて白紙に戻してもいいと思うほど、あの人が好きなのですか」

直子は胸の奥でふつふつとたぎる怨念にも似たこれらの言葉を、口に出してぶつけられたらどんなにすっきりするだろう、と思う。

けれど、ひとつ泣き言を言えば、なしくずしにどこまでも崩れていきそうな自分を予感して、直子は背筋を伸ばし正座しなおして、夫の背に言った。

「私、どうあっても行彦のために籍は抜きませんから。覚えていて下さい」

あの時、ああ言ったのは正しかったのだろうか、と今、直子は改めて自分に問いかけてみる。籍は抜きません、行彦のためです、と言ったけれど、本当にそれだけであつたわけではない。

夫と上島令子が法的に保護されて、ぬくぬくと幸せになることは、考えただけでも理不尽で許せなかった。たった紙切れ一枚のことだと思っても、直子にも意地がある。夫の使者だといって友人の弁護士が何度か足を運んできたが、あくまでねつけてきた。

それでも行彦の学費の送金をやめるということもな

く、愛情からか、責任からか、その点、夫は紳士的だったといえる。

それにしても籍を抜かなかったのは正解だったろうか。かえって、それに固執したばかりに、重荷を背負いこむ結果になってしまったのかもしれないのだ。

障害の程度を早くこの目で確かめたいという、ある種の残忍な思いと、今さら電話があつたからといって、飛んで行くこともあるまい、という夫や上島令子への意地が胸の奥で激しく交錯し、その夜、直子はねむれないまま暗闇を凝視していた。

S 記念病院、七階七〇五号室は南面に窓のある八帖ほどの個室だった。博行は、ガラス越しにさしこむ午後の日ざしの中でねむっていた。

枕頭台においたしやなカットグラスの花瓶には、百合の花が枯葉色になって頭を垂れている。令子の



電話を受けて五日目、迷った末にきた病院だった。

部屋に来る前、ナースステーションで担当医に会ってみた。

脳更塞による右半身マヒと、言語障害がある、とよく太った医師がシャウカステンにかけたレントゲン写真を、ここがその位置だとボールペンでさしながら説明していった。

黒いフィルムの中に、白っぽい円型の頭部断面図が九つばかり並んでいる。小さくて、よくわからないが、言われてみればそうかと思う。

だが、今となつてはそんなことより、これから先よくなっていくかどうかの方が大事だった。その点どうなのでしょうと問うた直子に、元通りになることは不可能にしても、訓練しだいでもかなり克服できるから、と最後の方により力を込めて医師は言った。

直子は枕元に立ってベッドの博行を見た。

あごのあたりでま掛けられた毛布が、浅い呼吸でかすかに上下している。

見覚えのある顔だった。憎しみの向こうになつかしさもあった。が、それを押えて直子は凝視する。

鼻の下やあごのあたりのひげが、五ミリ近くも伸びていた。よく見ると白いものも混っている。こんな博行を、初めて見たと直子は思った。ねむっていても苦しいのだろう、彼の眉間には深いたてじわが二本、くっきりと刻まれていた。柔かいマットレスに沈みこんでいるからか、体の厚みを感じられず、ベッドの上の博行は妙に頼りなげにみえた。

けれどこうして寝ている姿を見ると、やつれは多少みえるものの、そうひどい障害があるようには思えない。医師の言ったことが信じられなくて、直子は毛布をとって確めたい衝動にかられた。

手を伸しかけた時、人の気配を感じたのか、博行が目をさました。直子は一瞬、息を吞む。彼の目は片方しか開いていなかった。右のそれは、まぶたが下がったまま

になっている。いや、そればかりでなく、顔の右半分が不自然に弛緩していた。

博行の左の目が直子をとらえる。初めは誰だかわからない様子だった。何かを思い出そうと一っだけの目が思案して、やがてとまどいの色をみせて視線をそらせた。

それっきり二度と直子を見ようとはしない。彼は全体で直子を拒否しているふうだった。

首から下はわからないが、この状態からすれば、おそらく右半身もすべて機能を失っているにちがいない。医師の言葉が実感としてわかった。

彼の父親も、そういえば五十代の半ばで、やはり同じ病気に倒れている。彼は一カ月の寝たきりの後、逝ってしまったが、博行の場合、命はとりとめたというものの、まだ四十八歳の若さなのだ。

やせているわりに血圧が高かったのは父親ゆずりだったのだろう。だから直子は彼のために、食事は充分すぎるほど気を使ってきたのだ。令子との生活で、博行はそうした心配りを受けなかったのではないか。

「大変だったでしょう」

自分でも思いがけないやさしい言葉が出ていた。裏切られたことに対する怒りも、口惜しさも、もちろんある。それ見たことかと思わないでもない。

けれど、令子に去られ、こうしてベッドに放り出されたように寝ている博行をみれば、やはり同情心の方が先にたつた。

彼はかたくなに窓の方へ視線を向けている。

「毎日来た方がよければ来ましょうか」

返事はない。もしかして医師の言った言語障害があるというのは、口がきけないということなのか。改めて直子の背に戦慄が走る。

だが、たとえそうであっても、目で、体で語ることではできるはずだった。

□第17回

神戸文学賞作品募集

本誌は昭和51年に創刊15周年記念として神戸文学賞・神戸女流文学賞を創設いたしました。これまで左記の通りに各賞の受賞作が決定しておりますが、第11回の募集より、さらに質の向上をはかるため「神戸文学賞」の名称に統一、受賞作を一作品として、現在、広く作品を募集いたしております。

。第十一回「瞑父記」(田能千世子―茨木市)

。第十二回「夢食い魚のブルグッドバイ」(釜谷かおる―高砂市)

。第十三回「お夏」(門田露―西宮市)

。第十四回「風車の音はいらない」(上田三洋子―長岡京市)

。第十五回「渴き」(刀禰喜美子―大阪市)

。第十六回「香水はミス・ディオール」(白石美保子―今治市)

ここに第17回文学賞を公募するにあたり、多数の意欲的御投稿をお願いするとともに清新かつ強力な作品の出現を期待する次第です。

△募集要項▽

一、応募作品は小説とし、応募資格は問いません。ただし応募作品数は一篇に限ります。

一、応募作品は未発表原稿、または縮切以前、一年未満に発行の同人誌に掲載したものに限ります。

一、原稿枚数は四百字詰60〜70枚。ワープロ原稿は四百字詰に換算した枚数を記入のこと。

一、原稿には住所、本名(筆名)、年齢、職業、略歴を明記し、四百字程度の作品梗概を必ずつけて下さい。

一、縮切りは平成四年八月三十一日(当日消印有効)

一、受賞作品発表は本誌平成四年新年号誌上で、同号より作品を掲載します。

一、原稿の返却、選考経過などに関する問い合わせには応じかねます。

一、受賞作品の著作権は本誌に属します。

一、受賞作品には副賞として賞金三十拾万円が贈られます。

一、原稿の送り先、お問い合わせは、神戸市中央区東町一三の一 大神ビル九階 月刊神戸っ子「神戸文学賞係」まで。
電話〇七八―三三一―二二四六

主催／月刊神戸っ子



活伊勢海老料理

中納言

豪華、海老づくし。

新神戸店

神戸市中央区北野町1(オーバ3F)

☎(078)262-2882

神戸プラザホテル店

神戸市中央区元町通1-13-12(神戸プラザホテル2F)

☎(078)331-7918

神戸元町東店

神戸市中央区北長狭通3-31-89(JR元町駅東口すぐ)

☎(078)392-1685

芦屋ラポルテ店

芦屋市船戸町2-1-108(芦屋ラポルテ西館2F)

☎(0797)23-2535

大阪駅前第3ビル店

大阪市北区梅田1-1-3-3200(駅前第3ビル32F)

☎(06)341-5460

大阪駅前第4ビル店

大阪市北区梅田1-11-4(駅前第4ビルB1F)

☎(06)344-8685

大阪北新地店

大阪市北区曽根崎新地1-3-25(くらんぱれ6F)

☎(06)348-0222

大阪心斎橋店

大阪市中央区南船場4-5-8(第2心斎橋ビル1・2F)

☎(06)244-9866~7

大阪千日前味楽館

大阪市中央区難波1丁目4-4

☎(06)212-9678

愉快、爽快、痛快、パック



Bowlingパーティパック

Bowling パーティパックは、ボウリングコンペとパーティが手軽に楽しめるグランド六甲 B・C ならではの愉快なサービスパックです。ボウリングコンペを楽しんだあとは、1 階レストラン・コラージュでリッチなお食事。ご家族やご友人と、また会社のレクリエーション、歓送迎会などにも最適。アクティブなひとときをお約束します。

(お一人様 3 ゲーム + 貸しシューズ代 + ドリンク + お料理)
3,300 円より、ご予算にあわせて承ります。



神戸市灘区友田町5-2-3
TEL (078) 841-3151(代)
年中無休 駐車場完備

営業時間 11:30~22:00
TEL (078) 821-2692



神戸のうまいもとドリンキング

★日本料理

康岐名代うどん あこや亭
布引店 ☎232-2400 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎533-3737
兵庫駅前店 ☎575-5306 ポーアイ店 ☎303-1188
ポーアイプラザ店 ☎303-3232

和食くれない
三宮生田新道通中央KCBビル2F ☎331-0494
たこ焼たちばな
三宮センター街(旧橋筋) ☎331-0572

民芸調食事処 五事
炭焼ステーキ
元町3丁目山側 ☎391-3156

炭焼やきとり トリドリ
中央区北長狭通2-5-1
タイムサンセットビル2F ☎391-3028

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539
鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

季節茶屋 一輪一房
中央区三宮町1-8-1
さんプラザB1F ☎331-2280

天ぷら 天ふじ
中央区下山手通2-11-24
大倉ビル1F ☎392-3630

SAKE & KAISEKI 喜兵衛
中央区山本通2-1-1
コーナーハウス2階 ☎242-5411

蟹すき 千石船
さんちか店 ☎391-4875 千石船・山手店 ☎392-3854

懐石料理 楽珍
阪急西口店/阪急三宮西口北レインプラザ3-4F ☎321-5300/0
宴会場/神戸三宮生田新道 西村ビル3-4F ☎332-1717

うどん・和菓子 ちから餅
トアロード店 ☎331-3250
瀬永店 ☎707-4466

日本料理 けごん
中央区加納町4-7-24 ☎391-0266

天婦羅 藤はら
神戸市中央区元町3-6-14 ☎331-3373

おでん 藤吉
中央区北長狭通1-21-2 サンメイビルB1
☎392-7321

日本料理 西村屋
神戸市中央区磯上通7-1-20 ☎232-3663

日本料理 西村屋 熊内茶寮
神戸市中央区熊内町1-8-23 グランド熊内ビルB1F
☎231-6767

日本料理 海舟
中央区中山手通1-7-8 格子屋ビル1F ☎331-2924

生そば・寿し 丸万
中央区中山手通1-27-11 ☎231-7291
☎221-8379

料亭・ラウンジ 北野異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎222-2001

日本料理 かじき
中央区中山手通4-2-2 ☎332-6029

にしんそば 松葉
中央区下山手通2-1-13
第13シャルマンビル2F ☎322-1555

テーブル割烹 美食倶楽部
中央区北野町1丁目 オープ3F ☎262-2800

★各国料理
Meat in 帝(MIKADO)
中央区下山手通2-4-13 高山ビル1F
☎333-8801~2

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎391-4858

スキャンディナヴィア料理
と世界の民族音楽の店
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

ステーキラウンジ 果林
神戸アザラホテル2F(元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス 長崎
神戸市中央区市引町2-3-16 ☎221-1086

メキシコ料理 ティファアーナ
の お店 中央区中山手通1-21-13
パールコーポラビル1F ☎242-0043

フランス料理 ビストロドゥリヨン
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727

レストラン 三光
中央区北長狭通2-8-6 ☎331-0226
☎321-5861

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7158

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2106

フランス料理と神戸ビーフ レストランフック
フランス風中華料理 夢香亭
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207、332-4129

韓国料理 百濟
中央区下山手通3-1-9
コスモビル1F ☎392-5458

ワインレストラン ローテ・ローゼ
ワインハウス 中央区北野町4-9-14 ☎222-3200

韓国宮中料理 鳳仙
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル6F ☎391-2147

シルアロード料理 スパイスレストラン
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎331-1734

神戸ビーフ指定店 和黒くわくく
三田市北長狭通東側通
指定店 中央区中山手通1-24-1 ☎222-0678
ビルサイドテラス1F

スコッチ&ローストビーフ ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111

フラメンコ&スペイン料理 エル・パンチョキタノ
中央区北野町3-2-4 ☎241-1344
アニマル・マンション1F

中国料理 萬壽殿
中央区中山手通2-20-4 ☎231-4531

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT ニュームンベン神戸大使館
三宮生田ロード ☎391-3654

ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031

炭焼ステーキ フラダンス料理
中央区北野町2-17-18 リンズギャラリー ☎242-2562

ステーキ&ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-1-13 ☎321-2955
第13シャルマンビル2F(東急ハズ南)

広東料理 神戶元町別館牡丹園
元町通1丁目協和銀行北側小路西入る
☎331-5790・6611

かに専門店 Seafood Crab
生フードクラブ
北野町1丁目 オープ3F ☎262-2253

中国料理 花咲く街角
北野ハンター坂店 中央区中山手通1-27-8 ☎261-8739
藤原台店 神戸市北区藤原台7-4-1 ☎981-1100

ステーキ ステーキハウス・コウベ
中央区北長狭通1-2-3 二鶴寿司ビル3F ☎332-6685

とんかつ 龍焼ステーキ 龍
中央区北長狭通2-12-13 生田新道 ☎331-0372

広東料理 TEITE(ティテ)
トアロード店 ☎333-6888 南店 ☎321-3332

★喫茶・菓子

喫茶 たちばな
中央区元町通3-9-2 ☎391-1051

サロンド・ティ カレット
元町一番街 ☎321-1739

カフェ・ド・ラセー
新聞会館1F ☎221-8155

ケーキ&喫茶 アンテノール
北野本店/中央区中山手通1-22-13 ☎242-3797
神戸店/中央区北長狭通1-10-6 ☎331-8640

LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3
☎221-1872-231-9524

三宮店・国鉄三宮駅南側 ☎241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎391-0669
北野店・山本通2-1-20 ☎242-2467
(会 員 制) 3F事務所 ☎242-1880
阪急三宮駅南11山側 ☎332-5722

珈琲 モーツアルト
中央区山本通2-6-11
グランドマンション1F ☎241-3961

喫茶 英 屋
神戸国際会館側 ☎251-4562

喫茶 英 屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 仏蘭西 屋
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

コーヒーラウンジ カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

純喫茶 元町サントス
中央区元町通2-3-12(元町通1番街側) ☎331-1079

炭火焼煎珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6(生田路)
ムーライトビル1F ☎332-2016

炭火焼煎珈琲 コンロン・カフェ
神戸市中央区雲井通4-2-2 神戸いすゞビルビルB1
☎261-1771

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市港区八幡町4-6-16
(阪急六甲駅下草間口西南約3分)

フルーフジョブ ベニマン
フルーフバー
神戸市中央区北長狭通4-3-24 ☎331-8584

コーヒング C A R A T
ラウンジ キヤラット
阪急三宮駅東口山側 白龍ビル3F ☎331-5141

炭火焼煎珈琲 カフェ・ド・パーク
神戸市中央区山本通2-14-26
クラタ11号館2F ☎231-3671

★CLUB
CLUB N E
中央区北長狭通1-5-9 ☎331-4143

サロニ コート・ダジュール
中央区中山手通1-22-113 ヒルサイドテラス4F
☎222-7222

c l u b 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

c l u b 小万
中央区東門町中島ビル3F ☎391-0638・4386

c l u b なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブ るふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

c l u b コトブキ
中央区三宮通通り ☎331-1875

C L U B 伽羅
中央区中山手通1-5-6 あざみビル1F ☎332-0022

C L U B あざみ
中央区中山手通1-5-6 あざみビル2F ☎332-0022

C L U B 彩
加納町4-8-7 FBビル6F ☎392-0156

C L U B 神戸倶楽部
神戸市中央区加納町4-7-11
バレービルビル2F ☎392-3719

ベティシアター かけい
中央区下山手通2-1-13 ☎332-2239

クラブ 禿
中央区北長狭通1-5-8 ☎322-3006

★STAND & SNACK
レストラン BAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

ジャズライブ アルバトロス
ハウス 中央区中山手通1-22-10 ☎231-3300
大和ナイトプラザ2F

ブチジャン エトワ
音楽の宝 中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755
神戸トアロード三宮センター街西口スカイ・アール3F

スナック 雅子
神戸市中央区北長狭通1-5-9 KCBビル3F ☎332-0051

レストラン・バー トム・キャンティ
中央区下山手通2-11-5 ☎331-2122
神戸ワシントンホテル1F(年中無休)

カクテルラウンジ サウオイ
高瀬山側 テキの店北 ☎331-2615

ミュージック サントノール
ラウンジ トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F ☎221-3886

スナック トスカ
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル2F ☎391-3930

果 酒 洲 でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

STAND マッシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ☎331-5587
ユーベルビル4F

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10 ☎242-0288
大和ナイトプラザ1F

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田路) スーパー・ステーション
ランドハウス45rpm 虎通坊 薬 恵スカイヤクラブ

スタンド かてな
中央区中山手通1-7-10 英龍ビル1F ☎331-1316

スナック アダルト
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885

韓国スナック 世宗
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル3F
☎392-1727

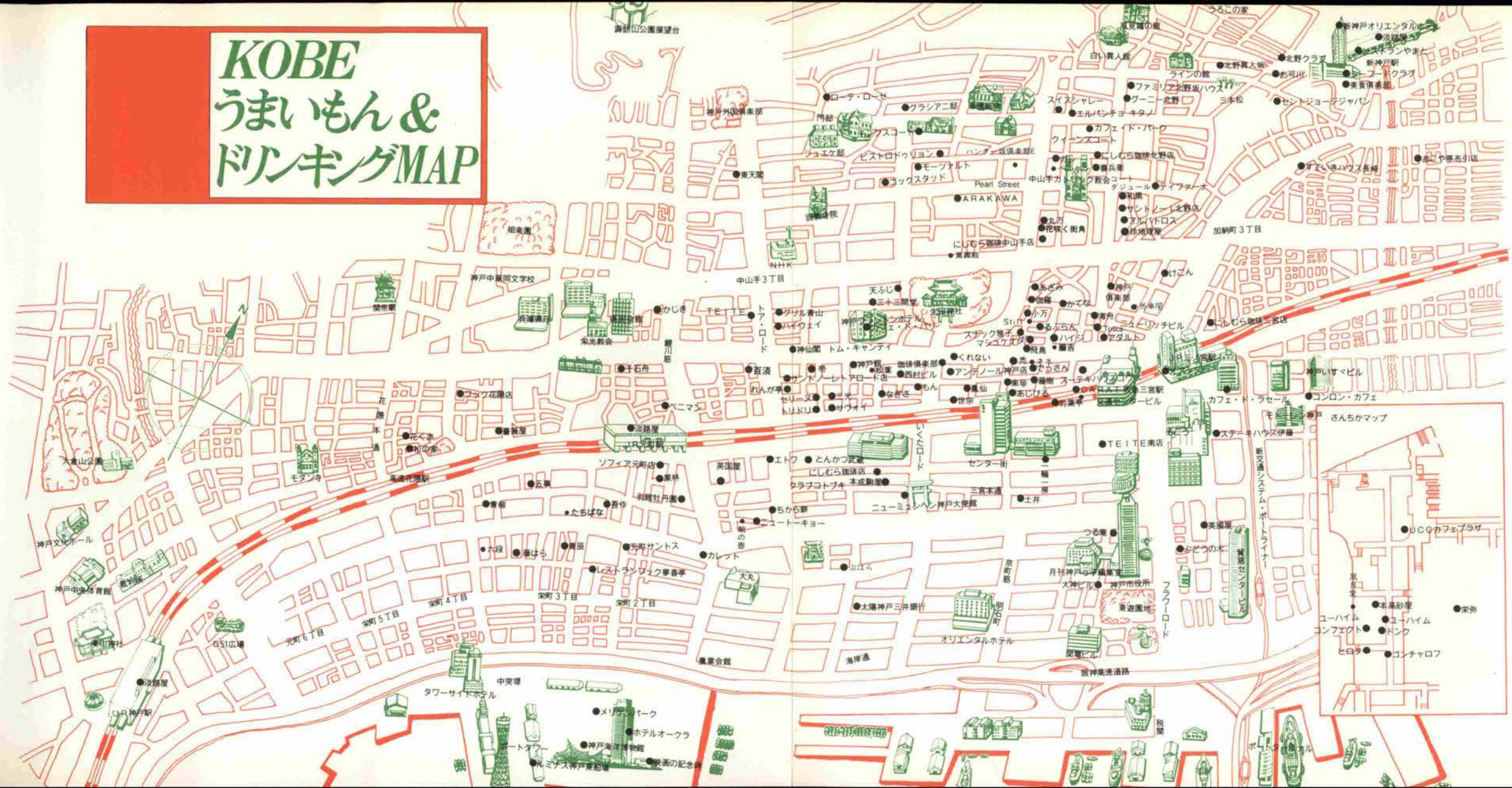
スナック オアシス
神戸市中央区北長狭通1-9-17 三宮興業ビル4F
☎333-1946

お酒処 藤樹
神戸市中央区北長狭通1-5-1 大山ビル6F
☎322-1974

カクテルバー 馬車屋
中央区加納町4-9-29 パシフィックアトラス神戸ビル3F ☎331-6814

スナック S T I L
中央区中山手通1-4-13 東門会館 ☎332-5759

KOBE
うまいもん &
ドリンクMAP





焼 排 骨

スペアリブの広東風味焼

広東風の味で焼き上げた、当店のスペアリブは、ふわりとやわらかく、ジューシーな肉のうま味が口いっぱいに広がります。寒さも吹っ飛び、元気の出るメニューです。



広東料理
神戸元町別館牡丹園

本店／神戸市中央区元町通1-11-3 協和埼玉銀行北側小路西入る

☎(078) 331-5790・6611 営業時間：平日 11時～14時30分・17時～20時（ラストオーダー）
土・日・祝日11時～20時（ラストオーダー） 水曜日定休

千里阪急店／豊中市新千里東町1-5-1 北大阪急行・千里中央駅前 千里阪急百貨店 5 F

☎(06) 832-1990 営業時間：平日 11時～19時（ラストオーダー）

日・祝日 11時～20時（ラストオーダー） 木曜日定休

SHOPPING



● 額縁

バレンタインの思い出に、ステキな絵を贈るのはいかがでしょう。シルクスクリーン、リトグラフ、油絵、水彩。選ぶのも楽しみです。

末積製額

トアロード・大丸前
☎331-1309



● アクセサリー・ブティック

淡いピンクの香りに誘われて、蝶が軽やかにやってきました。ベつ甲に貝をあしらった春を呼ぶ、ブローチとイヤリングです。

La POMME SINCE 1873

元町一番街山側
☎331-6195



● 手づくりの心を伝える

フレッシュなパンがズラリと並び、カスカード門戸厄神店、学生さんやお勤め婦りのO.L.、お母さんで店内はいっぱい。



Cascade

門戸厄神駅前店
西宮市阪急門戸厄神駅前
☎(0798) 53-1033



● ギャラリー

3月17日(水)より22日(月)まで、岩瀬憲一先生の個展、「雲間石壁を描く」を開催します。皆様のお越しをお待ちしております。

ギャラリー あじさい

さんプラザ3F
☎331-1639・1067

TASTE

For Your Favorite Time



● スイス菓子

自分の気持ちをカタチにしたい。あなただけのカスタムメイドチョコをハイジは作ります。今年のバレンタインデーはハイジのチョコで。



HEIDI

■本店
神戸市灘区水道筋
6-1-18
☎801-4466



● ティールーム

シックなムード漂う落ち着いた店内で飲むサイフォンコーヒー。くつろぎのなかに深い味わいが楽しめます。



LASSERE

中央区雲井通4丁目
神戸新聞会館1F
☎221-8155



● うどん・そば・和菓子

ちから餅のうどん、そばや和菓子、お餅などの数々は、いつも変わりがなく、肩のこらない味が嬉しいのです。

うどん・そば
和菓子

ちから餅

トアロード
☎331-3250・3251



● 高級デリカテッセン

純ドイツ式・スコッチ式製法で作られたスモークドサーモン、ハム、ソーセージ。神戸らしい洗練された味をこの冬のギフトにぜひ。

株式会社 **トアロード デリカテッセン**

〒650 神戸市中央区北長狭通2-6-5(トアロード)
Tel (078) 331-6535 FAX (078) 332-7374



白鶴酒造(株)

神戸市東灘区住吉南町4-5-5
078(822)8901



菊正宗酒造(株)

神戸市東灘区御影本町1-7-15
078(851)0001



沢の鶴(株)

神戸市灘区新在家南町5-1-2
078(881)1234

The Faces Of "SAKE"

気のいい友と酌みかわす 天下泰平！日本の酒



金盃酒造(株)

神戸市灘区大石東町6-3-1
078(871)5251



木村酒造(株)

神戸市東灘区御影石町1-1-5
078(851)0260



福壽酒造(株)

神戸市東灘区御影塚町1-8-17
078(821)2911



福徳長酒類(株)

神戸市灘区新在家南町4-8-1
078(861)3702



辰馬本家酒造(株)
西宮鞍掛町 6-20
0798 (32) 2761



西宮酒造(株)
西宮市用海町 4-57
0798 (32) 2501



山邑酒造(株)
神戸市東灘区魚崎南町 4-2-25
078 (411) 2101



多聞酒造(株)
西宮市東町 1-13-11
0798 (33) 8000



(有)泉勇之介商店
神戸市東灘区御影塚町 1-2-7
078 (851) 2722



小西酒造(株)西宮工場
西宮市今津港町 1-18
0798 (34) 0001



辰馬悦蔵商店
西宮市浜町 1-1
0798 (33) 0001



金露酒造(株)
神戸市東灘区魚崎南町
5-5-47
078 (431) 1635

村上和子の ほろ酔い

対談



新社屋の玄関先で大塚社長（右）と村上さん。

日本酒の極への挑戦

きわみ

大塚恵一郎さん（金露酒造株式会社代表取締役社長）

村上 和子さん（ジャーナリスト）

が最適なのでしょうか。

大塚 今が吟醸造りのまっ盛りです。この時期暖かいと困るんですね。その点、恵まれています。また寒いほど日本酒は売れると考えられがちですが、生活環境も変わっていますから、そうとは言い切れないようです。

村上 金露さんの主力とされていらつしやるお酒といえますと。

大塚 出荷量では「極」です。23年ほど前に発売いたしました、また今度特撰「極」と銘打ったものも、ふだんのお酒として広く好まれております。しかし吟醸、大吟醸酒の伸びは、目ざましいですね。好みにうるさい通の方が増えたのでしょうか（笑）。

酔えさえすれば、というのは昔のことです。今や食生活、いや日常生活全体に豊潤な香りをそえるものとして高品質の日本酒が出てきましたね。

村上 金露さんの「ビーフ・ソサエティ」がそうですね。

大塚 湯どうふに日本酒、というイメージから、最近の食生活の洋風化を考慮して、肉に日本酒という意味で、平成元年に発

売しました。ドライな強さではなく、ましてライトでもない、透明感をお肉と共に味わっていただければと思っています。

村上 金露さんの進取の気質が表われた逸品ですね。確か紙パック容器を採用されたのも金露さんがはじめてで……。

大塚 昭和50年でした。清酒1・8リットル入紙パック容器詰を先がけて発売したことになりますね。弊社は、今年で創業186年になります。酒造りの世界では、新しいほうですが、明治40年にはアメリカに日本酒の輸出を開始したりと、進取の気質は伝統



昨年5月完成の新社屋の威風

村上 酒造会社にとって、お忙しい季節になりましたね。

大塚 忙しいですね。酒造りのほうは、今がピークの状態なんです。販売面では、十二月がたいへんですが、最近平均して販売量の増加がみられますね。

お歳暮の贈答用のお酒が暮れに多くなりますよ。

村上 天候と酒造りとは密接な関係がありますね。最近の寒さ

になっているようです。ね。
“ビーフ・ソーエティ”は、今までの日本酒を一新させました。在来日本酒では、肉に合いませんから。試行錯誤を繰り返して、肉のうまみを損ねずに、際だせるお酒の完成まで、努力しましたよ笑。苦労はねぎらわれていますが(笑)。

村上 お肉には“ビーフ・ソーエティ”が合う、と評判なんですね。昨年五月の新社屋の完成は、そういう声を反映したシンボルと言えますね。

大塚 ある面では、効率化を考えた訳ですが、ぜんぶを酒造工場化しようとは考えておりません。機械化できない優れた杜氏



金露のお酒の前で歓談もはずむお二人。

の技術が必ず酒造りには必要なのです。上質になるほど、手作りの部分が多くなっています。麴菌や原料米の種類、精白の高度化などに、最新の醸造工学を導入して品質を高めております。秋、黄金色にたわむ稲から醸しつくられた清酒、黄金の露である“金露”は、やはり酒蔵にこそあり、と考えています。

村上 そのような精神のなかから、羽衣のラベルの“玄妙”も生まれたのです。アメリカでも人気があるそうです。

大塚 高級なお酒が売れるようになってきましたね。でも一般の消費者の方を大切にしているのが一番大事ですよ。プライベートルーブルなどを考案いたしましたね、毛筆からイラストまで、お客様オリジナルのデザインをラベルにした吟醸酒をお届けして、いっそう日本酒を身近なものにしたいだいております。

村上 金露のお酒は、ますますティーブルの主賓となりますね。

大塚 直営店なども経営して新鮮さを直に味わってもらえるよう工夫しております。食事ときの主賓ではなく、脇役として金露の豊潤な香りを全体にさりげなく漂わせたいと思いますね。そのために今後も、日本酒の極を追求していきたいですね。

金露酒造株式会社

〒655 8 神戸市東灘区魚崎南町

5-5-47

☎(078) 431-1635 58

ご宴会は「あこや亭」でどうぞ……。



冬にはやっぱり暖かい「鍋」が一番。
あこや亭では名物手打ちうどんをはじめ、鍋物、京風料理、天ぷら料理、その他、バラエティーに富んだメニューを取り揃え、皆様のご来店を心より、お待ちしております。

▶三階大会会場
お座敷で20名様まで。舞台付、
レーザーカラオケもあります。
・分割してもご利用頂けます。
・一階はテーブル席、天ぷら
カウンター、二階はお座敷と
してご利用になれます。



●お料理の内容、ご予算、ご人数等、お気軽にご相談下さい。



和風お食事処
あこや亭

布引店

神戸市中央区旗塚通 7-1-1 田崎真珠布引ビル 営 11時～22時30分
☎ (078) 231-2400代 ご宴会のご予約はフリーダイヤルで ☎ 0120 (078) 058

「花のかたち」より
「花のころ」を伝えたい。



~~~~~Schedule~~~~~

|   | モーニングクラス<br>(AM) | アフタヌーンクラス<br>(AM) | イブニングクラス<br>(PM) |          |
|---|------------------|-------------------|------------------|----------|
| 月 | 1-3              | 3-5               | 6-8              | 自然の中にある  |
| 火 | 10-12            | 1-3               | 3-5              | 「いのち」に暮ら |
| 金 | 1-3              | 3-5               | 6-8              |          |
| 土 | 10-12            | 1-3               | 3-5              | しを映しとるー  |



フラワーデザインは、  
そのひとつの手段です。  
三宮に新しく生まれた  
教室で感性を磨いて、  
心豊かな人へ……。

マミフラワーデザインスクール 神戸



FUTURE BLD. 1F フラワーデザイン HANA・AU  
はな あり

TEL・FAX  
078-231-8786

はなハロー

寺尾啓子



# 飲んでます 杜仲葉



◎杜仲葉 (3g×50パック) 標準価格2,800円

◎杜仲葉缶 (190ml×30缶) 標準価格3,000円

少年のような小便がでるわ。ベルトの穴が二つも減ったんや

大村 崑さん (タレント)  
僕も、小便がよう出るといので飲む気になった。長いこと人間して

ると小便の速度を忘れるのよ。ところが飛行場なんかでトイレに行くと若い子が凄い勢いで小便を飛ばすネン。二人位若い子がジョンジョン飛ばして出て行った頃、こっちはチョロチョロ長いことかかる (笑) 年が行くといわれるのはショックやけど、声と、小便と、髪の毛は、年が出るのよ (笑) それで飲み始めた。(笑) 杜仲葉用のヤカンをきめて三袋入れて炊き出して、ガラスビンに4本。冷蔵庫に入れて家族中で飲み始めた。(笑)

小便はよう飛ぶは、マッサージしてもらって最中から尻が出るは (笑) 押え終ったとたんにブワッ! マッサージさんが笑う笑う (笑) 近米ないことやからねこんなこと、快食快便。ベルトの穴が二つも縮まってお腹がへっこんで。普通やせると顔もやせるけど、イメージを変えないでおなかをへこませたい (笑) 一カ月半でテキメン。それに、お茶だといつでもすぐ飲めるとい自分生活エリアの中にあるから愛用しやすい。まあ、ファミリーで愛好しています。

キユツとしまつて3キロ  
体重が落ちたのよ!

野川由美子さん (女優)  
昨年、大村崑さんと劇団ロマン舎で一緒にした時に、杜仲葉は凄なお茶や。大きいヤカンでがんがん飲んだるネンと教わって。紹介してエト

お申し込みは下記へご連絡下さい。

## 富士杜仲株式会社

〒661 兵庫県尼崎市武庫之荘1丁目4番15号

FAX (06) 436-0901

TEL (06) 432-0770

月刊神戸っ子にもアリマス

〒650 神戸市中央区東町113-1

☎078-331-2246

教えてもらって、それからずーと愛用中です。  
あれから一年、ずーと杜仲葉飲んでます。(笑) どこ行くにも持っていくの。私、体型変わりました。細くなったの。体重は三キロ落ちた。家では大きなヤカンに、三個や四個パックを入れて炊きだして飲むの。色は濃いいの。やせたというのでなくキユツとしまつて落ちたの。顔がやせんとお腹がへっこむの (笑)。朝起きたらすぐ飲む。ほんとにいいの。ウンコがきれい。健康のパロメーターですもん。  
七月の名鉄ホールの舞台で財津一郎さんとウイスキーを杜仲葉で割って飲む芝居をしたの。財津さんも「おいしい!」と実感していたわよ (笑)。  
主人は肝臓悪くしているけど酒好きなので毎日ウオッカの杜仲割を飲んでもらっているの。だって二日酔いしないもん。

★展望塔の家



## KITANO MAP

さりげなく気持ちを伝える  
— See You



店内はかわいらしい雰囲気なのに、どこかシック。好みに応じて組み合わせで

きるリボンやラッピング紙にも、さりげないセンスの良さが感じられます。北野と布引にお店を構えるSee Youは、自分らしさをアピールしたいバレンタインデーにぴったりのお店です。チョコレートは、ベルギー、フランスなどヨーロッパ直輸入。中でも特におすすめしたいのが、トリュフや生チョコ類です。ソフトな口あたりと、日本人の好みに合わせて選ばれたという、あっさりとした甘さのチョコレート一粒一粒は、どれもぜいたくな味わい。種類も充実しています。肩ひじ張らずに年に一度のバレンタインデーが楽しめる、大人の女性に似合うお店です。



■布引店 / 中央区加納町2-11-12  
☎241-7522 ☎11~18(14日迄~19)  
北野店 / 中央区北野町1-5-21  
☎241-5339 ☎11~17

|                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                          |                                                                                               |                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・フランス料理・</p> <p><b>北野クラブ</b></p> <p>神戸市中央区北野町1-5-7</p> <p>☎222-5123</p> <p>◇ランチタイム a.m.11:00~p.m.2:30</p> <p>◇ディナータイム p.m.5:00~p.m.10:30</p>                                            | <p>Golf and Sundries House</p> <p><b>K&amp;T</b></p> <p>Kitano, Kobe</p> <p>中央区北野町4丁目8-3</p> <p>ジャスナムアベニュー2F ☎242-5382</p>               | <p>神戸で最初に公開された異人館</p> <p><b>うろこの家</b></p> <p>中央区北野町2丁目</p> <p>☎242-6530</p>                   | <p>異人館のユーハイム</p> <p><b>ラインの館</b></p> <p>中央区北野町2丁目10-24</p> <p>☎222-6266</p> <p>10AM~6PM 第3木曜定休</p>                                |
| <p>神戸割烹</p> <p><b>お可川</b></p> <p>中央区北野町1丁目5-10</p> <p>☎222-3511</p> <p>11AM~9PM</p>                                                                                                        | <p>スカンディナビア料理と世界の民族音楽の店</p> <p><b>ゴックスタッド</b></p> <p>中央区山本通 回教寺院前</p> <p>☎242-0131</p> <p>5PM~0:00AM 水曜定休</p>                            | <p>フランス料理</p> <p><b>グラシアニ</b></p> <p>中央区北野町4-8-1</p> <p>☎242-0597 火曜休 予約制</p>                 | <p>フランス料理</p> <p><b>ゲーニー北野</b></p> <p>中央区北野町2丁目7-18</p> <p>リンスギャラリーB1F</p> <p>☎242-2562</p>                                       |
| <p>手づくりのシフォンケーキとサンドイッチファミリア</p> <p><b>北野坂ハウス</b></p> <p>中央区北野町2(北野坂)</p> <p>☎222-3535</p> <p>11AM~6PM 月曜休</p>                                                                              | <p>ワインレストラン・ワインハウス</p> <p><b>ロ・テ・ロ・ゼ</b></p> <p>中央区北野町4丁目9-14</p> <p>☎222-3200</p>                                                       | <p>フランス料理</p> <p><b>ビストロダリオン</b></p> <p>中央区山本通2丁目13-6</p> <p>☎221-2727</p> <p>正午~10PM 月曜休</p> | <p>英国風レストラン</p> <p><b>St. George Japan</b></p> <p>中央区北野町1丁目2-17</p> <p>☎242-1234</p> <p>11AM~3PM(ランチタイム)</p> <p>5PM~11PM(会員制)</p> |
| <p>会員制レストラン<br/>インターナショナルゾーン</p> <p><b>CASABLANCA CLUB</b></p> <p>カサブランカクラブ</p> <p>中央区北野町3-1-6</p> <p>☎241-0200・222-0182(パビロン)</p> <p>入会金10,000円 お食事2,000円~</p> <p>17:00~24:00 (フルコース)</p> | <p>料亭・ラウンジ</p> <p><b>北野異人坂</b></p> <p>中央区北野町2丁目9-22</p> <p>☎222-2001</p> <p>11AM~6PM(ティー&amp;ランチタイム)</p> <p>6PM~11PM(料亭&amp;ラウンジタイム)</p> | <p><b>ローズ ガーデン</b></p> <p>中央区山本通2丁目8-15</p> <p>222-1140</p>                                   | <p>フランス料理</p> <p><b>ジャン・ムーラン</b></p> <p>中央区北野町2-16-8</p> <p>☎242-4188</p> <p>11:30AM~2PM</p> <p>5PM~10PM 水曜休</p>                  |



## KITANO

